

実施状況等調査報告書

令和7年7月23日

目的	公益財団法人中島記念国際交流財団助成による2025年度留学生地域交流事業に係る実施状況等調査
調査団体	東北学院大学 (宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1)
事業名	大日堂祭典を通して学ぶ土樋の文化と歴史
調査団体対応者	東北学院大学 国際交流部国際交流課 係長 石原 寛子
機構実施者	留学生事業部留学生事業計画課支援計画係 専門員(併) 係長 太田 賢一 係員 寺崎 祐加
調査日時	1. イベント見学:(機構実施者:寺崎) 令和7年7月13日(日)13時00分~16時15分 2. ヒアリング:(機構実施者:太田、寺崎) 令和7年6月23日(水)9時59分~10時09分
実施形態	1. イベント見学:対面 2. ヒアリング:オンライン(ZOOM)
報告事項	<p>1. イベント見学について</p> <p>1) イベント名:大日堂祭典</p> <p>2) 参加対象:外国人留学生、日本人学生、地域住民(外国人除く。地域のスタッフ含む)、団体スタッフ等</p> <p>3) 参加者数:75名 ※外国人留学生8名、日本人学生20名、地域住民(外国人除く。地域のスタッフ含む)46名、団体スタッフ1名</p> <p>4) 概要:</p> <p>本イベントは、「大日堂祭典を通して学ぶ土樋の文化と歴史」として、東北学院大学土樋キャンパスのある田町地区の田町大日堂(文殊院)において「大日堂祭典」が実施された。本イベントは、森重旅館で法被に着替え、田町大日堂(文殊院)でご祈祷し神輿を担いで町を練り歩いた後、慰労会を行う流れとなっている。</p> <p>法被を着ることが初めての外国人留学生が多く、足袋の履き方が難しいという声が度々聞こえ、苦戦している様子であったが、地域ボランティアの方々のサポートもありイベント開始時間前には、全員が着替え終えることができた。</p> <p>イベント開始時刻になると、住職による参加者一人ひとりへのご祈祷後、袴を着た露払いの方々に続いて、子供神輿及び大人神輿が「ワッショイ！」の掛け声とともに出発した。外国人留学生からは、「神輿が重い」という声も聞こえたが、終始「ワッショイ！」の掛け声を絶やすことなく、日本文化に触れながら楽しんでいる様子が見られた。</p> <p>慰労会は、田町大日堂(文殊院)内で行われ、住職の挨拶で開始した。東北学院大学の石原係長より、学内で外国人留学生を見かけたら是非声をかけてほしいと日本人学生に説明があり、</p>

外国人留学生 8 名からは自己紹介が行われた。

本イベントで「貴重な体験になった」「ワッショイ！」と掛け声をした時、自分も日本社会の一員になれた気がした」という声も聞かれ、外国人留学生にとっても貴重な体験になった様子であった。

【写真】

(会場の入口)



(会場の様子)



(イベント準備の様子)



(イベント実施の様子①)



(イベント実施の様子②)



(イベント実施の様子③)



2. 実施状況等調査（ヒアリング）について

・概要：

会場の撤収作業と並行して実施した場合、東北学院大学の業務負荷が高まることが懸念されたため、イベント見学とは別の日に、オンライン形式でヒアリングを実施した。

参加者を募るために、チラシを作成し校内に掲示したが、多くの外国人留学生の目に留まるよう、案内メールを複数回送信した。町内会には、総会でアナウンスし、地域住民には、回覧板を通して周知を行ったとのことである。

アンケートについては、外国人留学生には修了式の日（7月30日）に、直接アンケート用紙を配布して回答を依頼し、町内会の方々及び地域住民には、直接アンケート用紙に回答いただくか、QRコードを読み取って回答することができるよう回覧板を通して依頼する予定とのことだった。

予算の執行状況については、予想していた参加者数を大きく下回ったため、助成金の半分程度（約 52,500 円）返納を要する事態になる見込みとのことである。また、予算については、全て学内システムで管理しており、随時、日ごとに分けて入力している。会計報告書の提出時に添付する領収書等については、大学の財務部において適切に保管し管理していることが回答された。

留学生地域交流事業への要望としては、特にないとの回答であったが、年度により学生の力

ラーが全く異なるため、前年の応募時に見込んでいた参加者数が、翌年の実施時には大きく外れることがあるので、募集と実施が同一年であればよいという話が出た。最後に、本事業を通して、外国人留学生と地域住民が異文化交流をするよい機会であると考えてるので、今後、東北学院大学の学生だけではなく、近隣の日本語学校の学生を交えた交流イベントを企画したいとのことだった。

(ヒアリングの様子)

